CHARACTER CULTURE, CONNECTED.

YURU COIN
WHITEPAPER

日本のキャラクターを入口に、応援が続き、次の事業が生まれる場所をつくる。



12 CHAPTERS

12 VISUAL GUIDES

2026 Web改訂案

日本語版・図解と写真で読むプロジェクトの全体像

READ / EXPLORE / UNDERSTAND

目次

01 YURU COINが目指す世界 04

02 キャラクター文化から、継続する関係へ 06

03 YURUを中心とするエコシステム 08

04 参加する人と、つくる人の体験 10

05 トークン仕様と利用の考え方 12

06 新旧トークンの移行と確認方法 14

07 IPが育つ市場と、事業の収益 16

08 日本から世界へ、IPから新しい領域へ 18

09 段階的に実証し、広げていく 20

10 続けられる運営と、情報の透明性 22

11 利用前に理解しておきたいこと 24

12 参照資料と改訂履歴 26

写真・文化の背景 03

参照資料 / 画像クレジット 28-30

確認済みの情報と、今後の構想を分けて記載しています。2025年公開版とは別の改訂案です。

REAL PEOPLE. REAL CHARACTERS.

その「好き」が、出発点。



キャラクターとファンが集まった、ゆるバース2026の表彰式。





出会う → 応援する → 関わり続ける

写真はゆるバース2026の記録です。会場での出会いを、その後のゲームや活動情報につなげることがYURUの目指す方向です。

写真・キャラクターの権利は各権利者に帰属します。出典と撮影対象は30ページに記載。

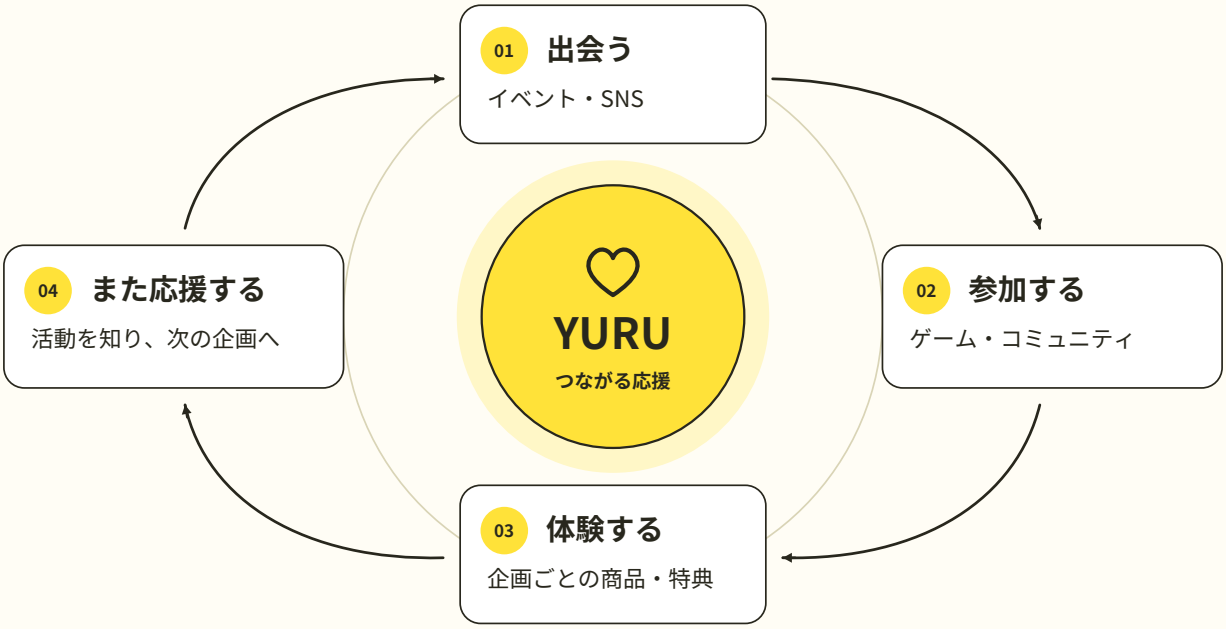
01 OVERVIEW

YURU COINが目指す世界

日本のキャラクターを入口に、応援が続き、次の事業が生まれる場所をつくる。

FIGURE 01 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 01 しくみを読み解く



YURUが目指す参加の循環。トークン購入はすべての体験の必須条件ではありません。

応援が、次の体験につながる

YURUが目指す参加の循環。トークン購入はすべての体験の必須条件ではありません。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

01 OVERVIEW

YURU COINが目指す世界

考え方と実装に向けた要点

YURU COINは、ゆるキャラグランプリを起点とするキャラクター文化と、デジタル上の参加体験をつなぐプロジェクトです。Solana上のトークンYURUを共通の軸に、YuruFun、ゲーム、コミュニティ、地域の活動を結びつけることを目指しています。

イベントで好きなキャラクターに出会う。その後もゲームや企画に参加し、活動を知り、もう一度会いに行く。この連続した体験が、ファンにとっては楽しみとなり、権利者にとっては新しい商品や活動を育てる土台となります。

本書は、現在確認できるサービス・トークン情報と、今後の事業構想を整理した2026年Web改訂案です。未提供の機能、契約未確定の協業、将来の事業は構想として記載しています。2025年公開のホワイトペーパーとは区別し、現行トークンの識別情報は2026年の移行告知を参照しています。

押さえておきたいポイント

01 入口はキャラクターとの出会い

02 日常の接点はゲームとコミュニティ

03 事業の中心は継続して使われる体験

04 YURUはサービスをつなぐ共通トークンの軸

02 CULTURE & OPPORTUNITY

キャラクター文化から、継続する関係へ

一度の盛り上がりを、その後も続く応援と利用につなげる。

FIGURE 02 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 02 しくみを読み解く

イベントが、関係の始まりになる
会場の体験を、ゲーム・情報・次の訪問へつなげる。



開催前
物語を知る
キャラクター・地域の物語や活動を知る。

当日
会って、応援する
会場での出会い、応援、商品や体験。

帰宅後
日常でもつながる
ゲームや活動情報で、帰宅後もつながる。

次の機会
また会いに行く
次の企画への参加や、その地域への訪問へ。

継続する関係へ

参加の流れを表した設計例です。特定のイベントにすべての機能が導入されていることを示すものではありません。

イベントの前・当日・その後をつなぐ

参加の流れを表した設計例です。特定のイベントにすべての機能が導入されていることを示すものではありません。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

02 CULTURE & OPPORTUNITY

キャラクター文化から、継続する関係へ

考え方と実装に向けた要点

地域のキャラクターは、観光、文化、特産品、企業やまちの物語を身近に伝える存在です。ゆるキャラグランプリやゆるバースは、さまざまなキャラクターとファンが出会う接点をつくってきました。

ゆるバース2026の公式開催報告では、オンライン参加435キャラクター、現地参加135キャラクター、投票数2,290,603票、2日間の来場者約35,000人が報告されています。これらはイベントの実績であり、YURUの保有者数、サービス利用者数、プロジェクトが保有するIP数ではありません。

YURUの構想は、その接点の先にあります。イベント後もキャラクターの活動を知る、ゲームで遊ぶ、特典を利用する、次の企画に参加する。地域や権利者が、単発の集客だけに依存しない関係をつくれるよう、デジタルの参加導線を整えていきます。

押さえておきたいポイント

01 イベントの前後をつなぐ情報発信

02 参加を続ける理由になるゲーム・体験

03 権利者の許諾に基づく商品・企画

04 活動の見える化と次の参加機会

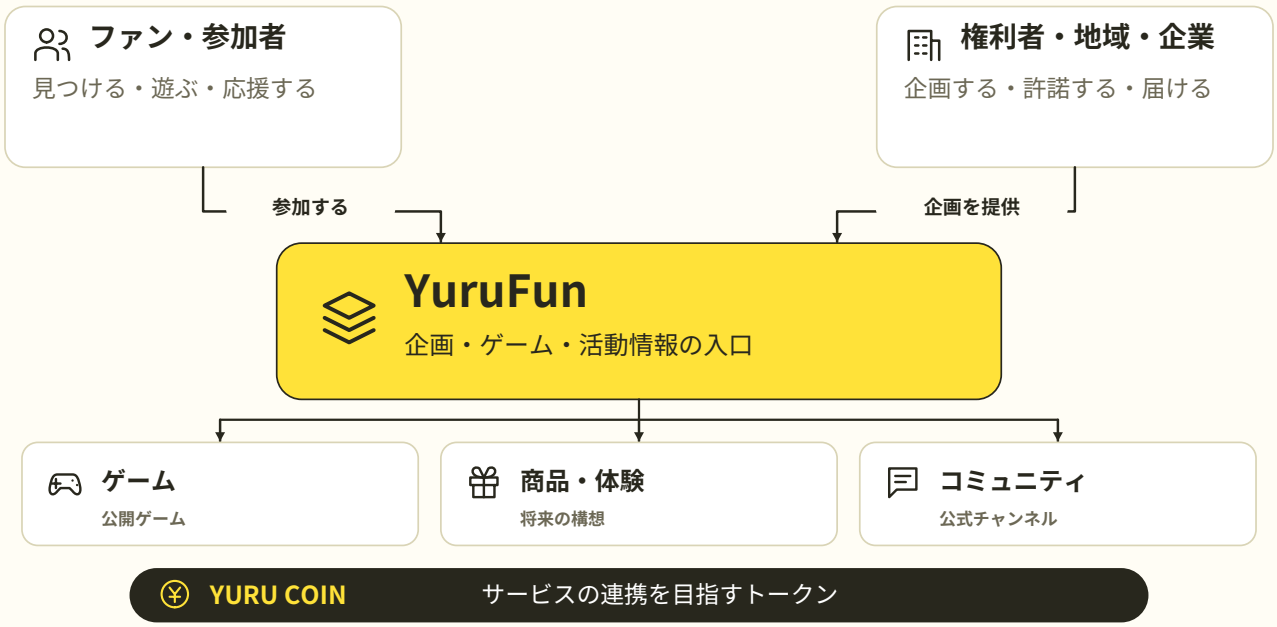
03 ECOSYSTEM

YURUを中心とするエコシステム

出会う、関わる、使う。異なる接点を一つの体験に。

FIGURE 03 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 03 しくみを読み解く



サービスの役割と将来の連携イメージ。個別の利用条件はそれぞれの企画で決まります。

誰が、どこで、何をする？

サービスの役割と将来の連携イメージ。個別の利用条件はそれぞれの企画で決まります。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

03 ECOSYSTEM

YURUを中心とするエコシステム

考え方と実装に向けた要点

ゆるキャラグランプリやゆるバースは、キャラクターと出会う入口です。YuruFunは、参加・商品・活動情報をつなぐプラットフォームとして位置づけます。ゲームとゆるぽは、イベントとイベントの間にも戻ってくる日常の接点を担う構想です。

YURU COINは、その複数の企画やサービスをつなぐ共通トークンの軸です。ただし、すべてのサービス利用にトークン購入を必須とする設計ではありません。現在公開されているYURUパズルには、ウォレットや支払いなしで体験できる入口があります。

IP・RWAに関する個別商品は、YURU自体とは別のものとして設計します。どの権利があるのか、何を利用できるのか、誰が提供するのかを、商品ごとの条件で明示する必要があります。YURUの保有だけでIPの著作権や実物資産の所有権を取得するものではありません。

押さえておきたいポイント

01 イベント：認知と出会い

02 YuruFun：参加と情報の共通基盤

03 ゆるぽ・ゲーム：日常の接点（連携構想を含む）

04 YURU：共通の利用・参加軸

05 IP・RWA：個別条件を持つ商品構想

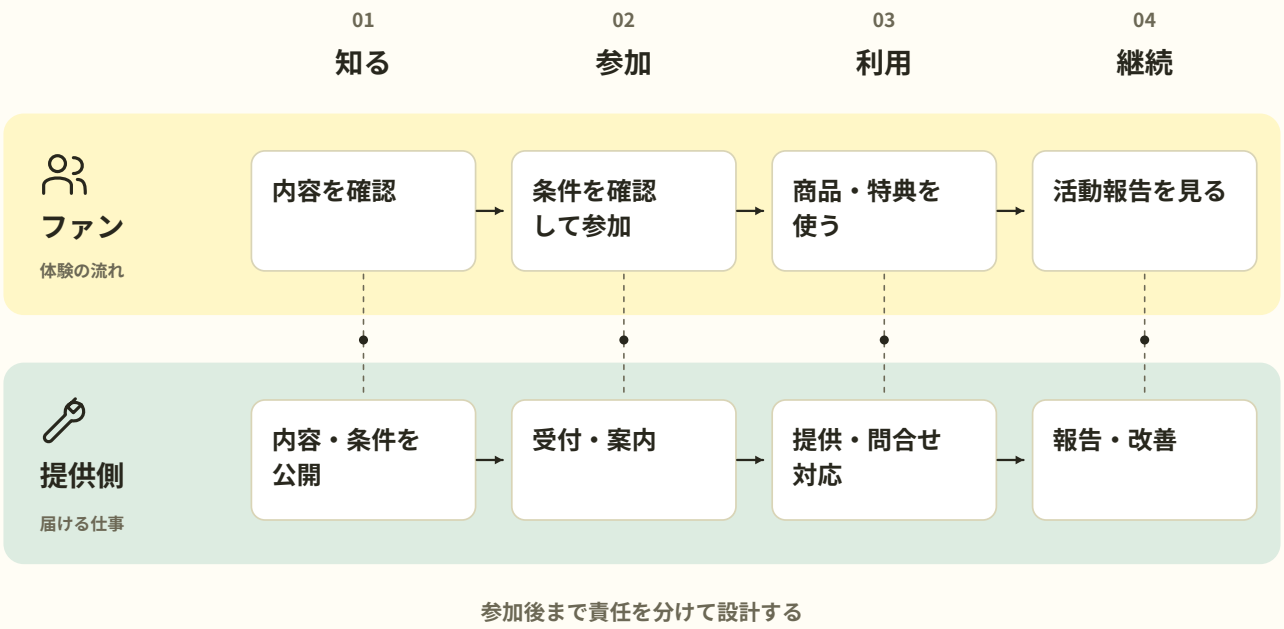
04 PRODUCT & EXPERIENCE

参加する人と、つくる人の体験

仕組みを覚える前に、好きなキャラクターで参加できる。

FIGURE 04 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 04 しくみを読み解く



参加後まで責任を分けて設計する

企画の公開だけで終わらず、利用・問い合わせ・活動報告までを考えます。

参加したあとまで、体験を設計する

企画の公開だけで終わらず、利用・問い合わせ・活動報告までを考えます。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

04 PRODUCT & EXPERIENCE

参加する人と、つくる人の体験

考え方と実装に向けた要点

ファンの体験は、知る、選ぶ、参加する、使う、また戻る、の順に設計します。企画の紹介では、対象キャラクター、参加条件、利用できる特典、期間を分かりやすく示し、参加後には活動報告と次の機会へつなげます。

権利者側では、相談・権利確認から、商品設計、公開・運営、報告・精算までを一つの流れとして整えます。特典を売るだけでなく、その特典を実際に届けること、問い合わせに応えること、次の企画を判断できることを重視します。

たとえば、地域キャラクターのイベントからミニゲームに参加し、地域の限定体験を知り、実際に訪問して次の活動へ戻る流れが考えられます。これは体験設計の例であり、特定キャラクターとの契約や当該機能の提供開始を示すものではありません。

押さえておきたいポイント

01 ファン：内容と条件が分かり、参加した価値を実感できる

02 権利者：許諾範囲と提供責任を決め、活動を継続できる

03 運営：参加・履行・精算・問い合わせを一貫して支える

05 TOKEN DESIGN

トークン仕様と利用の考え方

新しいYURUを、アドレスから正しく確かめる。

FIGURE 05 図で全体像をつかむ



YURUの保有だけで、IPの著作権や実物資産の持分を取得するものではありません。

トークンとサービスは、役割が違う

YURUの保有だけで、IPの著作権や実物資産の持分を取得するものではありません。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

05 TOKEN DESIGN

トークン仕様と利用の考え方

考え方と実装に向けた要点

YURUはSolana上のSPLトークンです。2026年10月の取引所公式移行告知に記載された新Mintは、83xGH23oFrEFsovtpnEYPHc4iYvtyVpquwV91A8bYuRuです。表示名やティッカーだけで同一性を判断せず、ネットワークとMintアドレスの両方を確認してください。

2026年11月10日のSolscan確認値は総供給約940万YURU（9,399,999.930901）、小数点以下6桁です。総供給と流通供給は異なります。市場価格、時価総額、出来高、流通量は変動するため、本書では固定値による投資判断を促しません。

事業構想では、サービス利用、複数企画への参加、特典との接続をYURUの利用領域として検討します。採用する機能、導入時期、対象地域、原資はサービスごとに決定します。利用が増えることと、トークン価格が上昇することは同じではありません。

配分比率、ロック解除予定、運営保有、報酬原資は、最新版の確定資料とオンチェーン情報を対応させて開示する必要があります。旧ホワイトペーパーの配分図を新トークンの確定配分として転用せず、本改訂案では未確認の配分比率や利回りを表示しません。

押さえておきたいポイント

01 名称：YURU COIN ／ ティッカー：YURU

02 ネットワーク：Solana ／ 規格：SPL

03 供給：約9.4M YURU（2026.11.10確認）

04 トークン保有と個別商品の権利は区別

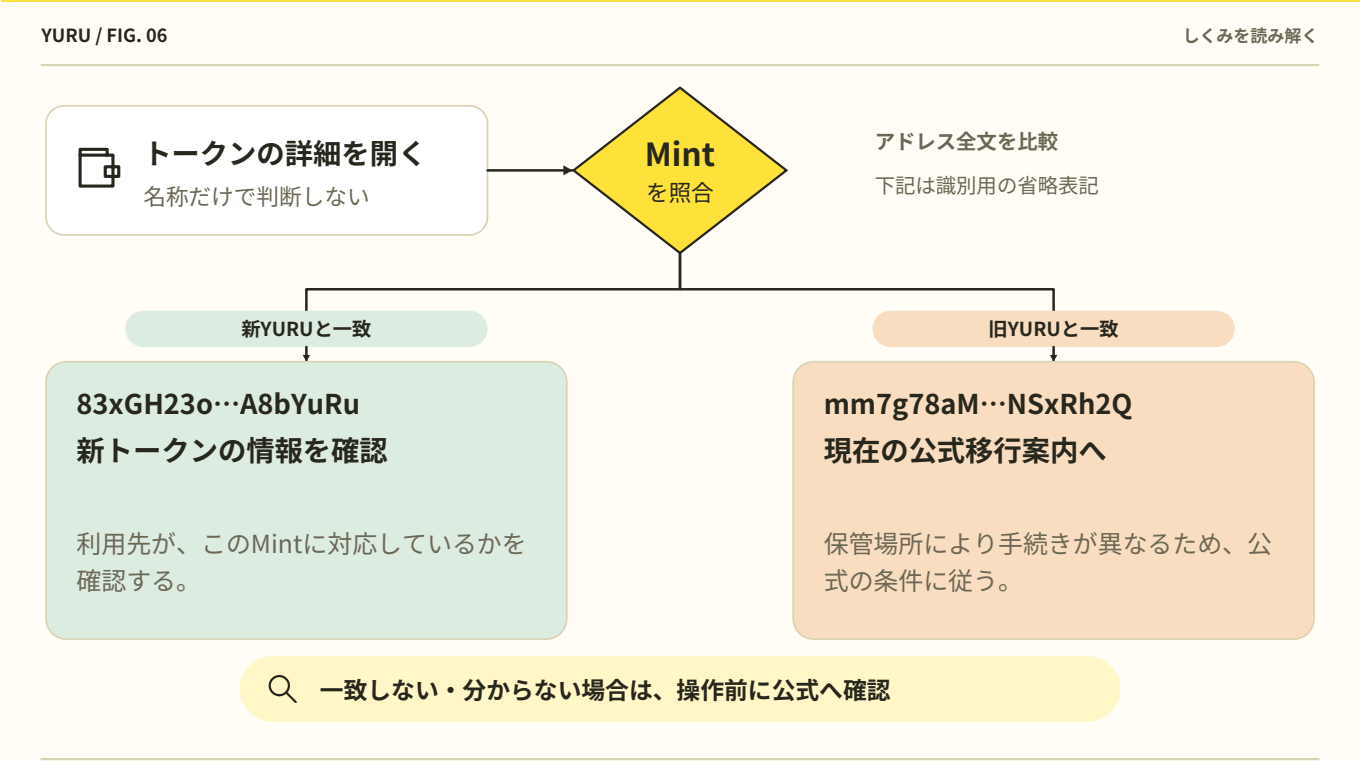
05 将来の利回り・価格・買戻しの保証なし

06 TOKEN MIGRATION

新旧トークンの移行と確認方法

保管場所によって、交換の手続きが異なります。

FIGURE 06 図で全体像をつかむ



移行が必要かどうかは、保有トークンのMintと現在の公式案内で確認します。

ウォレットにあるYURUを確認する

移行が必要かどうかは、保有トークンのMintと現在の公式案内で確認します。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

06 TOKEN MIGRATION

新旧トークンの移行と確認方法

考え方と実装に向けた要点

旧Mintはmm7g78aMJZv8QB4Q15qbsM3UQJZWof85vwC2NSxRh2Qです。新旧はどちらもYURUの名称が使われる場合があるため、送付前に入金先が対応するMintを確認してください。名称が同じでも、旧トークンを新トークン用の入金先へ送らないでください。

Toobitは2026年10月15日の公式告知で、1:1の自動交換完了と取引・入出金の再開を案内しています。旧トークンの入出金はサポートしないとされています。実際の口座反映と現在の稼働状況は、同社の画面と最新告知で確認してください。

WEEXは新Mintでの再上場を告知する一方、旧YURUOLDの自動交換は行わず、個人ウォレット経由でYuruFunの交換手続きを利用するよう案内しています。同告知には翌月10日の配布予定が記載されていますが、申請状況・受付条件・最新スケジュールはYuruFunで確認してください。

CoinMarketCapとCoinGeckoにもYURUのページがありますが、移行の反映状態が異なります。2026年11月10日の確認時点ではCoinGeckoが新Mint、CoinMarketCapが旧Mintを表示していました。価格・供給・チャートを比較する際には、対象Mintを先に確認する必要があります。

押さえておきたいポイント

01 保管先の交換方針を確認する

02 新旧Mintとネットワークを照合する

03 手続きは公式YuruFun・取引所から行う

04 秘密鍵・シードフレーズは入力・共有しない

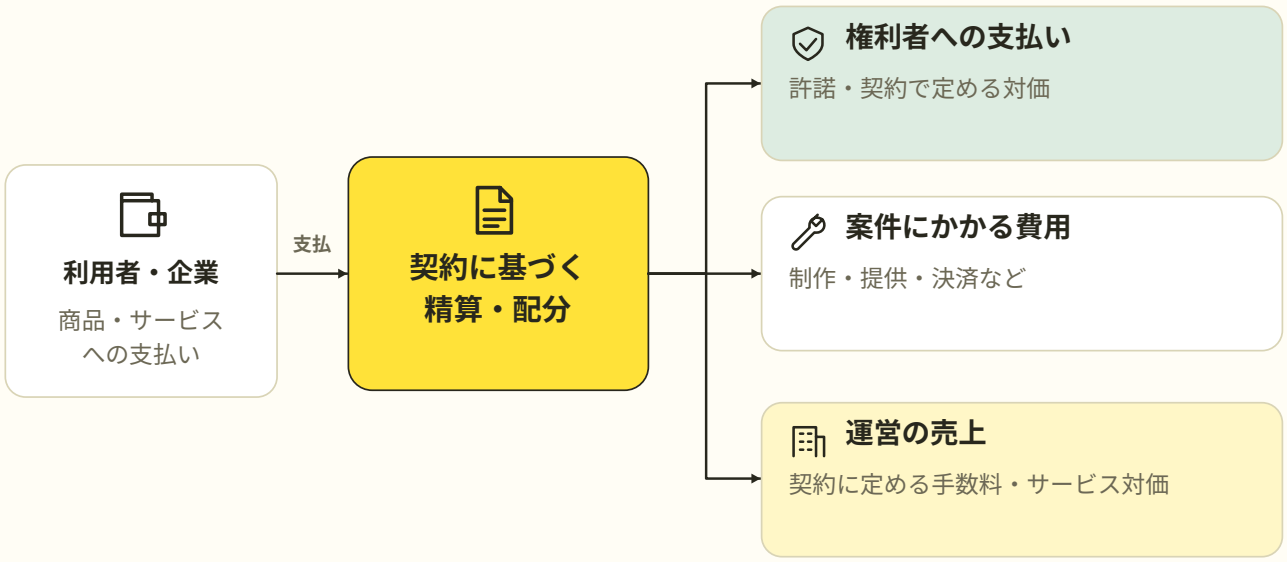
07 BUSINESS MODEL

IPが育つ市場と、事業の収益

参加を増やすだけでなく、次の企画を続けられる仕組みへ。

FIGURE 07 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 07 しくみを読み解く



支払総額 ≠ 運営の利益 売上から開発・運営費を負担し、次の企画を検討

事業モデルの構想です。支払額全体が運営利益になるわけではなく、保有者への配当を約束するものでもありません。

売上と、権利者への支払いを分ける

事業モデルの構想です。支払額全体が運営利益になるわけではなく、保有者への配当を約束するものでもありません。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

07 BUSINESS MODEL

IPが育つ市場と、事業の収益

考え方と実装に向けた要点

目指すのは、IPを発見し、内容と条件を理解し、参加後の活動まで継続して確認できる場所です。『IPの市場』はこの機能を表す事業ビジョンであり、株式市場の開設や金融商品の提供が決定したことを意味しません。

収益の柱として、商品化・導入支援、販売・取扱い手数料、継続運営サービス、スポンサー・共同企画を想定しています。権利者や企業が支払う対価に対して、企画、設定、公開準備、参加管理、活動報告などの具体的な仕事を提供するモデルです。

利用者の支払額すべてが運営売上になるわけではありません。権利者への精算、決済や特典の費用、運営に帰属する収益を区別し、そこから開発費・運営費を差し引いて継続可能性を判断します。料金や配分は個別契約で定めます。

成長は、稼働するIP数、企画ごとの参加者、継続利用、案件ごとの採算を組み合わせて評価します。運営収益がそのままYURU保有者に分配されるという設計ではありません。トークン保有に基づく配当や収益請求権を本書は約束しません。

押さえておきたいポイント

01 商品化・導入支援：企画と公開準備

02 販売・取扱い：対象取引の運営

03 継続運営：情報管理と活動報告

04 スポンサー・連携：イベントと共同企画

08 GLOBAL & RWA

日本から世界へ、IPから新しい領域へ

共通の参加基盤を育てながら、地域と商品ごとの条件を整える。

FIGURE 08 図で全体像をつかむ



海外・RWAは将来構想です。資産や地域ごとの条件が整ってから、個別に判断します。

共通にすること。個別に決めること。

海外・RWAは将来構想です。資産や地域ごとの条件が整ってから、個別に判断します。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

08 GLOBAL & RWA

日本から世界へ、IPから新しい領域へ

考え方と実装に向けた要点

海外展開では、日本のIPをそのまま輸出するだけでなく、現地の言語、文化、イベント、決済、提供条件に合わせた体験づくりを目指します。日本で生まれたキャラクターとの出会いを、海外でも継続的な利用や活動へつなげる構想です。

RWAは現実世界の資産を指します。アート、不動産、森林などの領域に、IPで培う参加管理や継続報告の仕組みを応用する可能性を検討します。ただし、資産の権利、保管、評価、収益、換金条件は案件ごとに異なり、YURUを保有するだけで資産の持分が得られるわけではありません。

環境・森林の取り組みでは、活動の記録と、認証された環境価値を区別します。技術やデータがあることだけでカーボンクレジットの認証・発行が実現するものではありません。提供地域、管理主体、専門機関との役割を整理したうえで個別に検討します。

現時点の基盤はSolanaです。将来の独自チェーンは長期検討領域とし、利用規模、運用費、保守負担、セキュリティ、移行の必要性を評価して判断します。導入時期や移行の実施は確定していません。

押さえておきたいポイント

01 海外：現地の利用体験に合わせた展開

02 IP：許諾と提供条件に基づく商品化

03 RWA：資産の権利・管理・報告を個別設計

04 技術：実際の利用規模を見て拡張

09 ROADMAP

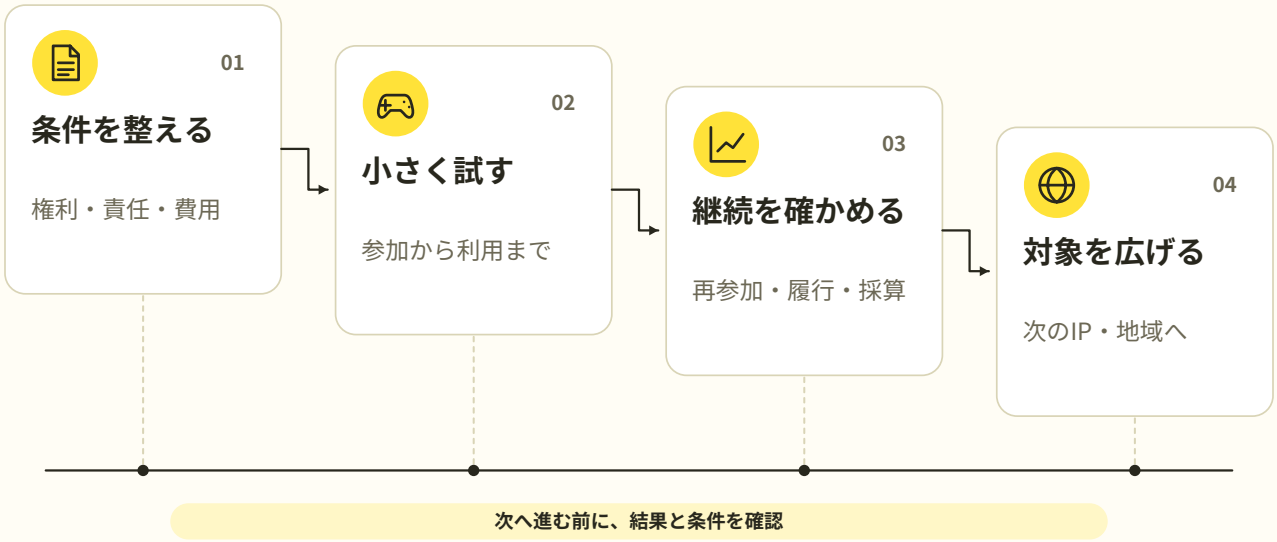
段階的に実証し、広げていく

まず一つの企画で、参加から利用・報告までをつなぐ。

FIGURE 09 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 09 しくみを読み解く

段階と判断基準を示すロードマップ



実装を約束する日程表ではなく、事業を進めるための段階と判断基準です。

できたことを確認して、次へ進む

実装を約束する日程表ではなく、事業を進めるための段階と判断基準です。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

09 ROADMAP

段階的に実証し、広げていく

考え方と実装に向けた要点

初期段階では、対象IP、提供する体験、責任者、権利、費用、計測項目を定めます。次に限定した参加者へ公開し、特典提供、問い合わせ、不具合対応まで実施します。その結果をもとに、継続条件と次の企画を決める流れを提案しています。

少数IPで運営を検証した後、複数IPに共通する公開・参加・精算の手順を整えます。海外やRWAへの展開は、先行するサービスの継続利用と運営品質を確認したうえで、対象地域や商品ごとの条件に沿って判断します。

2030年に向けた方向性として、継続的にIPや企画が集まり、ファンと権利者が長く使える市場機能の拡張を目指します。このロードマップは事業構想であり、完成期限や実装を保証するものではありません。契約、予算、開発、利用状況に応じて更新します。

押さえておきたいポイント

01 PHASE 01：基盤整備と条件の明確化

02 PHASE 02：少数IPで参加・利用を実証

03 PHASE 03：複数IPの継続運営を共通化

04 PHASE 04：海外・RWA候補へ段階的に展開

10 OPERATIONS & DISCLOSURE

続けられる運営と、情報の透明性

何が提供され、何がこれからなのかを、誰でも確かめられるように。

FIGURE 10 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 10 しくみを読み解く



今後の評価指標です。実績値が公開済みであることを示していません。

価格だけでなく、利用と運営を見る

今後の評価指標です。実績値が公開済みであることを示していません。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

10 OPERATIONS & DISCLOSURE

続けられる運営と、情報の透明性

考え方と実装に向けた要点

サービスの公開状況、トークン仕様、個別企画の条件、事業構想を分けて伝えます。情報の更新日と参照先を示し、旧資料を現行仕様として誤認させないことが、継続して利用されるための基本です。

運営では、事業・IP開発、開発・技術、運営・精算、専門領域との連携に担当を分け、契約主体と責任の所在を個別案件で明確にします。協業やキャラクターの掲載は、必要な許諾・合意が整った範囲で行う方針です。

進捗は価格だけでは評価しません。稼働IP数、初回参加率、30日・90日の継続率、特典履行率、問い合わせ対応、案件別収支といった利用・運営の指標を整理することを目指します。本書はこれらの実績値を公表したものではなく、今後の評価項目を示しています。

押さえておきたいポイント

01 仕様と構想の区別

02 更新日と一次情報へのリンク

03 許諾・責任・精算の明確化

04 参加・継続・履行・採算による評価

11 RISKS & CONSIDERATIONS

利用前に理解しておきたいこと

楽しむためにも、トークンとサービスの性質を知る。

FIGURE 11 図で全体像をつかむ

YURU / FIG. 11 しくみを読み解く



具体的な操作や取引は、各サービスの最新条件を読んでから進めてください。

参加前に見る、3つのポイント

具体的な操作や取引は、各サービスの最新条件を読んでから進めてください。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

11 RISKS & CONSIDERATIONS

利用前に理解しておきたいこと

考え方と実装に向けた要点

暗号資産の価格は変動し、流動性が低い場合には希望する価格やタイミングで取引できないことがあります。元本、価格、利回り、将来の上場、買戻しは保証されません。取引所の利用可否は居住地やサービスの条件によって異なります。

ウォレットの秘密鍵やシードフレーズは利用者自身で管理します。誤ったアドレスやネットワークへの送付、偽サイト、なりすまし、承認した悪意ある取引によって資産を失う可能性があります。公式リンクからアクセスし、送信内容を確認してください。

ブロックチェーン、スマートコントラクト、外部サービスには不具合や停止の可能性があります。サービスの実装、報酬制度、提携、イベント、ロードマップは変更される場合があります。ステーキング等を利用する場合には、原資、ロック期間、途中解除、手数料、提供主体を個別に確認してください。

本書はプロジェクトの理解を目的とする情報です。個別の売買推奨、投資収益の約束、資産や株式の取得申込みではありません。個別サービスの条件と最新告知を優先し、未確定事項については正式な開示を確認してください。

押さえておきたいポイント

01 価格変動・流動性

02 自己管理・誤送付・なりすまし

03 技術・運営・外部サービス

04 個別商品の条件と提供地域

12 REFERENCES & VERSION

参照資料と改訂履歴

原典を確認できる、開かれた情報ページへ。

FIGURE 12 図で全体像をつかむ



掲載日だけでなく、対象のトークン・サービス・期間を確認します。

情報の種類に合わせて原典を見る

掲載日だけでなく、対象のトークン・サービス・期間を確認します。

次のページで詳しい説明と実装上の要点へ

12 REFERENCES & VERSION

参照資料と改訂履歴

考え方と実装に向けた要点

本改訂案の作成基準日は2026年11月10日です。事業ビジョンは『YURU COIN 事業構想 図解資料 36ページ』（2026年11月9日表記）をもとに構成し、公開サービス、移行情報、イベント実績は下記の一次情報を参照しています。

2025年公開ホワイトペーパーには、旧トークンの総供給量や配分など、現在の情報と異なる記載が含まれます。歴史的な資料として原文を残し、2026年の新Mintに関する説明と区別します。本改訂案は既存文書を改変するものではありません。

新しいトークン配分表、権限設定の詳細、ロック・報酬の確定条件、個別サービスの提供条件については、正式資料の更新に合わせて追記する必要があります。確認できていない数値や未締結の協業を、確定情報として掲載していません。

押さえておきたいポイント

01 2026.11.10：2026 Web改訂案を作成

02 事業構想・公開済み機能・検討事項を分離

03 取引所の移行告知と新旧Mintを掲載

04 2025年公開版への原文リンクを保持

参照資料

原典と更新日を確認する

01

YURU COIN 公式サイト

プロジェクト紹介・公式リンク

https://coin.yurugp.jp/

02

公開ホワイトペーパー（2025年版）

旧トークンを含む従来の資料

https://coin.yurugp.jp/ホワイトペーパー/

03

YuruFun

サービス・ゲーム・交換案内

https://yuru.fun/

04

ゆるバース2026 開催報告

イベント参加・投票・来場実績

https://www.yurugp.jp/navi_news/116

05

Toobit トークン交換完了告知

2026.10.15／1:1の自動交換完了

https://www.toobit.com/en-US/announcement/toobit-completes-yuru-coin-yuru-token-swap-26-10-15

参照資料

原典と更新日を確認する

06

WEEX 新契約での再上場告知

新旧Mint・交換手続きの相違

https://www.weex.com/help/articles/vhb5di1ag8u3b9dgv9qyniaf

07

Solscan 新YURU

新トークンのオンチェーン情報

https://solscan.io/token/83xGH23oFrEFsovtpnEYPHc4iYvtyVpquwV91A8bYuRu

08

CoinGecko

新Mintの表示を確認

https://www.coingecko.com/en/coins/yuru-coin

09

CoinMarketCap

確認時点では旧Mintを表示

https://coinmarketcap.com/ja/currencies/yuru-coin/

改訂情報

作成基準日：2026.11.10。掲載内容は公開情報と事業構想の整理です。各サービスの条件・仕様・情報は、参照先の最新案内をご確認ください。

写真の出典



キャラクターとファンが集まった、ゆるバース2026の表彰式。

出典：ゆるナビ

https://www.yurugp.jp/navi_news/115



またたびくんが登場。ステージではT-CATとキャラクターに関するクイズも。

出典：ゆるナビ／東京シティ・エアターミナル株式会社（またたびくん）

https://www.yurugp.jp/news/1884



会場で出会った、またたびくん・まいたん・はちゃまる。地域を越えて広がる交流。

出典：ゆるナビ／東京シティ・エアターミナル株式会社（またたびくん）

https://www.yurugp.jp/news/1884

ゆるバース2026 / 2026年10月3日・4日

GMOアリーナさいたま・けやきひろば

写真およびキャラクターの著作権・各種権利は、それぞれの権利者に帰属します。図解は本資料の説明のために作成しており、将来の連携や機能の提供開始を示すものではありません。

YURU COIN

CHARACTER CULTURE, CONNECTED.